



事務事業名	農業集落排水施設維持管理事業	事務事業No.	40703000129	所属課	下水道課
-------	----------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
【経緯】 平成4年以降に、農業集落における生活環境の向上を図るため施設を整備してきた。 【5年前との比較】 接続者数は、横ばいで推移している。 経年劣化により機器の故障が、増加しつつある。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
中継ポンプ場の異物詰まりなどの一時的な故障に対する早急な対応(異物詰り等) 管理コストの低減化	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	維持管理費削減 ・費用をかけずに成果を維持するようするためには、現状の委託業務内容で、無駄等がないか一つずつ洗い出さなければならない。  機器故障の増加 ・メンテナンスを行い、機器の長持ちするよう努めている上で、機器故障が増加している。しかし、市財政も厳しい状況であるため、修繕予算を増やすことが厳しい状況である。
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	汲取りや単独浄化槽から農集排に接続することにより、悪臭や害虫の発生がなくなり、生活環境の向上を図っている。生活雑排水の適切な処理により、水路・河川や霞ヶ浦の水質保全に努めている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	河川や湖沼等の公共用水域の水質保全のためには必要な事業である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	現状の維持管理で、水質基準を達成できている状況である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	ライフラインの停止を招き、大きな影響を及ぼす。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	類似事業として公共下水道事業があるが、4市と県で流域を形成しており、連携するためには污水处理の計画の見直しや認可取得等の手続きが必要であり、農集排を接続するまでに膨大な時間がかかる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	供用開始後の経過年数が増加しており、設備の故障頻度も上がってきているため、維持管理面で事業費・業務時間の増加傾向にある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	整備された地域内で平等に受益機会がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
⇨		限られた予算の中で修繕を行っているが、故障箇所全てを修繕するのは難しい状況である。今後も経年劣化による各設備の故障の増加が見込まれる中、優先順位等を見直し、適正な修繕計画を立てなければならない。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
維持管理費削減 ・費用をかけずに成果を維持するようするために、現状の委託業務内容を密にチェックし、削減できる部分を洗い出す必要がある。  設備修繕の計画作成 ・設備故障の増加に対し、厳しい財政状況下において修繕予算を増やすのが困難である。したがって、故障した設備の役割や修繕の緊急性を見極め、優先順位を明確にした修繕計画を立てなければならない。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持)      C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う)      D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>